



## 栗山町長からシニアボランティアへ転身！

### 川口孝太郎SV(バヌアツ/都市計画・土地造成)直撃インタビュー

北海道栗山町の町長を2期8年務め上げ、退職後一念発起してJICAのシニア海外ボランティアとしてバヌアツに飛び出した川口孝太郎さん。2007年3月27日から2年間の予定で、首都ポートビラの都市計画アドバイザーとして活躍中です。先日一時帰国された折に、JICA札幌にてお話を伺いました。(聞き手: JICA札幌 徳田)



バヌアツSV仲間と一緒に。  
川口SVは常に姿勢がいい

#### ○世界でいちばん地球に優しい島・バヌアツ

ーバヌアツの暮らしはいかがですか？

川口SV:まさに天国みたいなところですよ。2年前にイギリスの団体が実施した調査で、「地球に優しく、幸せに暮らす国」の世界第1位がバヌアツだったんです。平均寿命のほかにも二酸化炭素排出量などを基に独自の指標で評価したもので、ちなみに日本は95位でした。

86の島々から成り、言語も100以上に分かれる多様な国家ですが、人々は温和で素朴です。一方で、国家自体は1980年に独立しましたが、経済的には白人(ホワイトマン)に牛耳られており、バヌアツ人の中に根強いコンプレックスを感じるがあります。

ーSVとしての活動について教えてください。

川口SV:内務省の地方行政局施設整備課に配属され、そのバヌアツ人スタッフに土地利用計画策定のための技術を伝えています。SVに応募する時、「どうしてバヌアツで都市計画が必要なんだろう?」と思って自費で見に行っただけです。たしかに首都は渋滞も発生していて、道路拡幅などが必要な状態ですね。私はもともと北海道庁で都市計画を担当し、フランスにも留学しました。その経験をバヌアツのために活かしたいのですが、「教える」ことはできない。自分にできるのは「伝える」ことであって、それをどう受け止めるかは相手に委ねるしかないのだと思います。

#### ○「志」を持つ人を育てたい

ー現地で剣道教室もひらいているそうですね。

川口SV:「技術」をいくら伝えても、その技術を使うのは結局「人」なんです。技術が個人の利益にしか使われなかったら意味がない。「バヌアツのために」という志を持った人を育てたかった。ホワイトマンに対するコンプレックスも、バヌアツ人主導の国造りを阻んでいます。高い志と強い精神を育てるために、自分が長年やってきた剣道が活かせると思ったのです。

現地から北海道庁剣道部に「防具を送ってほしい」と要請したのがきっかけで、今回、北海道剣道連盟から新品の剣道着を寄贈され、「バヌアツにも剣道を定着させてほしい」と頼まれてしまいました(苦笑)。

#### ○「人のため」だからこそ生きられる

ー今の時代、なかなか「国のため」を優先できる人は少ないかもしれませんね。

川口SV:100%世のため人のため、というのは無理ですよ。私だって出発点は自分の家族への思いです。孫の幸せを願うと、環境問題を真剣に考えるようになり、いつしか地球規模にまで思いが広がる。学生時代に悩んだ時、自分のためよりも人のためだったら生きられると思うようになりました。それ以来、人に役立つことをしたい、喜ぶ顔が見たいという思いが強くなり、そんな思いがボランティアの原点なんじゃないかな。

休暇が終わったら剣道着を担いでバヌアツに戻ります。残りの任期、バヌアツを想って全力投球あるのみです!



カウンターパートのジェリー(左)、  
バヌアツ内務大臣(中央)と

シニア海外ボランティアは、春(4月~5月)、秋(10月~11月)と年2回募集します。募集期間には札幌・旭川・函館で説明会を開催するほか、JICA札幌では随時個別応募相談も受け付けますので、お気軽にお問い合わせください。

JICA札幌 業務第二チーム:011-866-8393, sictp2@jica.go.jp

#### 【参考情報】

<http://www.jica.go.jp/activities/sv/index.html>【シニア海外ボランティアホームページ】

<http://www.jica.go.jp/sapporo/enterprise/volunteer/setsumei.html>【JICAボランティア説明会日程表】